継手	溶接式	45°エルボ	ショート	0.3	0.4	0.4	0.6	0.7	0.8	1.0	1.1	1.3	1.6	2.1	2.7	3.2
			ロング	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	1.0	1.2	1.6	2.0	2.4
		90°エルボ	ショート	0.6	0.8	0.9	1.1	1.4	1.7	1.9	2.2	2.7	3.2	4.3	5.3	6.4
			ロング	0.4	0.6	0.7	0.8	1.1	1.3	1.4	1.6	2.0	2.4	3.2	4.0	4.8
		チーズ又はクロス（分流90°）		1.6	2.2	2.4	3.2	4.0	4.7	5.4	6.2	7.6	9.1	12.1	14.9	18.0
バルブ類		仕切弁		0.2	0.3	0.3	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	1.1	1.3	1.7	2.1	2.5
		玉形弁		12.1	15.9	18.1	23.4	29.6	34.9	40.0	45.7	56.2	67.5	89.4	110.4	133.3
		アングル弁		6.0	8.0	9.1	11.7	14.8	17.4	20.0	22.8	28.1	33.7	44.7	55.2	66.6
		逆止弁（スイング型）		3.0	4.0	4.5	5.9	7.4	8.7	10.0	11.4	14.0	16.9	22.4	27.6	33.3

備考１　単位は、メートルとする。

２　管継手のうちチーズ及びクロス（口径の異なるものを含む。）を直流で使用するもの、ソケット（溶接式のものにあっては、レジューサとする。）及びブッシュについては、本表を適用することなく、当該大きさの呼び（口径の異なるものにあっては、当該それぞれの大きさの呼び）に応じた管の呼びの直管として計算するものとする。

附　則

（施行期日）

１　この告示は、平成二十八年四月一日から施行する。

（経過措置）

２　この告示の施行の際現に存する防火対象物又は現に新築、増築、改築、移転、修繕若しくは模様替えの工事中の防火対象物における配管の摩擦損失計算については、前項の規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。

○消防庁告示第八号

平成十六年消防庁告示第九号（消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式）第二第一号及び第四の規定に基づき、昭和五十年消防庁告示第十四号（消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式）の一部を次のように改正する。

平成二十八年二月二十六日

消防庁長官　佐々木敦朗

別表第七一⑵カ中㈥を㈦とし、㈦の次に次のように加える。

㈥　バルブ類

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

別表第七一中⑱を⑲とし、⑿から⑰までを⒀から⑱までとし、⑾の次に次のように加える。

⑿　圧力上昇防止措置

適正に設けられ、機能が正常であること。

別表第八一⑵カ中㈥を㈦とし、㈦の次に次のように加える。

㈥　バルブ類

変形、損傷等がなく、開閉位置が正常で、かつ、開閉操作が容易にできること。

別記様式第七（その一）を次のように改める。

別記様式第７　（その１）

ハロゲン化物（ハロン2402、1211、1301、HFC23、HFC227ea、FK-5-1-12）（区画名：　　）
消火設備点検票　（設備方式：全域・局所・移動）

名称		防火管理者	㊞
所在		立会者	㊞
点検種別	機器・総合	点検年月日	年　月　日～　年　月　日
点検者	資格　番号	点検者所属会社	社名　TEL
	氏名　㊞		住所

点検項目			点検結果 種別・容量等の内容	判定	不良内容	措置内容
			機器点検			
蓄圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等	消火剤貯蔵容器	周囲の状況				
		外形				
		表示・標識				
	※消火剤量		本			
	容器弁	外形				
		安全性				
	安全装置	外形				
		安全性				
	容器弁開放装置	外形				
		電気式				
		ガス圧式				
	指示圧力計					
	連結管・集合管					
加圧式ハロゲン化物消火剤貯蔵容器等	消火剤貯蔵タンク	周囲の状況				
		外形				
		表示・標識				
		安全装置				
	消火剤量		kg			
	放出弁					
	放出弁開放装置	外形				
		電気式				
		ガス圧式				
	バルブ類					
	加圧用ガス容器等	周囲の状況				
		外形				
		表示				
	※ガス量		本			
	容器弁	外形				
		安全性				
	安全装置	外形				
		安全性				
	容器弁開放装置	外形				
		電気式				
		ガス圧式				
	バルブ類					
	圧力調整器					
	連結管・集合管					

備考　１　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。
２　種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
３　判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
４　選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
５　措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
６　※印のあるものは、（その５）に容器ごとの点検結果を記入すること。